

看護教育論

ナンバリング:N4-S2-J12

責任者・コーディネーター	共通基盤看護学講座 佐藤 奈美枝 教授		
担当講座・学科(分野)	共通基盤看護学講座、看護学部		
対象学年	4	区分/単位数	講義/1単位
期間	前期		

・学修方針(講義概要等)

専門職教育としての看護教育を理解するために、看護教育の歴史の変遷を踏まえて、看護教育制度の現状と問題点を考えていく。准看護師問題、看護学教育の一元化および特定能力を有する看護師の問題等、看護学教育を取り巻く様々な問題を検討し、今後どのような看護学教育が必要とされるかを考えていく。さらには、自身の看護職としての継続したキャリア開発と継続教育の関連性を考える。

・教育成果(アウトカム)

看護教育の歴史の変遷や日本の看護教育制度の特徴をふまえ、現在の看護基礎教育の課題について自身の学習経験と関連づけて考察できる。また、学習理論や省察の概念を理解し、学生や看護職の学びや成長の過程を理論的に捉えることができる。さらに、将来、看護職として学生・新人看護職員・後輩を支援する立場を想定し、学習者の特性をふまえた教育的関わりについて検討できる。加えて、自身の学習経験や看護実践を省察し、看護教育とキャリア形成との関連を考察できる。

【学位授与方針と当該授業科目との関連】

本科目は、本学部の以下のディプロマ・ポリシーに関連する。

1	医療人としての全人的人間性をもち、豊かな教養を身につけ、常に自分を振り返る、謙虚な態度を持つ。
3	看護の専門職性及び看護の発展に貢献できる基礎的能力を持つ。
4	看護職者として、さまざまな健康上の課題に気づき、課題に応じて、創造的に看護を実践できる基本的な知識と技術を身につける。

・到達目標(SBO)

1. 看護教育の歴史的背景と制度の特徴をふまえ、現在の看護基礎教育の課題を説明できる
2. 学習理論や省察の概念を用いて、看護職の学びと成長の過程を説明できる
3. 将来、看護職として学生・新人看護職員・後輩を支援する際の教育的関わりについて根拠に基づき説明できる
4. 自身の学習経験や看護実践を省察し、今後のキャリア形成と結びつけて考えることができる

・授業日程

【講義】

会場：トクタヴェール講義室2

月日 曜日 時限	授業内容/到達目標	担当教員
4/27 月 4限	<p>【授業内容】なぜ看護職に教育論が必要なのか -看護教育論を学ぶ意義-</p> <ul style="list-style-type: none"> ・看護教育、看護学教育、看護教育学の違いを説明できる ・これまでの自身の学習や実習経験を振り返りながら、看護教育論を学ぶ意義を説明できる <p>【関連するSBO】1、2</p> <p>【事前学修:90分】講義や実習において「自分が成長できた」と感じた場面を振り返り、その理由をまとめる</p> <p>【事後学修:180分】(課題①:提出)事前学修であげた場面において、成長を促す教員・看護職の関わりについてまとめる</p>	共通基盤看護学講座 佐藤 奈美枝 教授
6/16 火 2限	<p>【授業内容】日本の看護教育の歴史の変遷を学ぶ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・看護制度や看護教育制度の歴史の変遷について説明できる ・保健師助産師看護師法が制定されるまでの経緯を説明できる <p>【関連するSBO】1</p> <p>【事前学修:90分】1年次の看護学概論で学んだ「日本の看護の歴史の変遷」を復習し要点をまとめる</p> <p>【事後学修:90分】保健師助産師看護師法が制定されるまでの経緯をまとめる</p>	看護学部 菖蒲澤 幸子 非常勤講師

6/17 水 1限	<p>【授業内容】日本の看護教育制度と課題</p> <ul style="list-style-type: none"> 日本の看護教育制度の特徴について説明できる 看護基礎教育における現状の課題を、自身の学習経験と関連づけて説明できる <p>【関連するSBO】1、3</p> <p>【事前学修:90分】学校教育法に示されている学校種別(大学、短期大学、専修学校、大学院)による目的の違いをまとめる</p> <p>【事後学修:180分】(課題②:提出)看護基礎教育における課題(看護実践能力、教員不足、教育と臨床現場の乖離)に対する自身の考えを述べる</p>	共通基盤看護学講座 佐藤 奈美枝 教授
6/22 月 4限	<p>【授業内容】看護基礎教育の教育課程と学習成果</p> <ul style="list-style-type: none"> 看護基礎教育における教育課程の構造について説明できる 自身の学習経験をふまえて、講義・演習・実習が果たす教育的役割を説明できる <p>【関連するSBO】1、3</p> <p>【事前学修:90分】4年間のカリキュラムを振り返り、学習者の視点で気づいたことをまとめる</p> <p>【事後学修:90分】講義・演習・実習が果たす教育的役割についてまとめる</p>	共通基盤看護学講座 佐藤 奈美枝 教授
6/25 木 3限	<p>【授業内容】学習理論と看護教育</p> <ul style="list-style-type: none"> 学習理論および経験学習の基本的な考え方を説明できる 学生や看護職の学習行動を理論的に捉えて説明できる <p>【関連するSBO】2</p> <p>【事前学修:90分】ICTを用いた学習効果や注意点について自身の考えをまとめる</p> <p>【事後学修:90分】学習理論や経験学習の効果的な活用についてまとめる</p>	共通基盤看護学講座 佐藤 奈美枝 教授
6/26 金 4限	<p>【授業内容】省察的実践者としての看護職</p> <ul style="list-style-type: none"> 省察の概念を説明できる 自身の学習経験や看護実践を振り返り、経験を学びへとつなげる意義を説明できる <p>【関連するSBO】2、4</p> <p>【事前学修:90分】リフレクションや省察的実践について文献を調べ、要点をまとめる</p> <p>【事後学修:180分】授業や実習場面での振り返りや教員からのフィードバック、教員との面談の教育効果についてまとめる</p>	共通基盤看護学講座 佐藤 奈美枝 教授
6/30 火 3限	<p>【授業内容】キャリア開発と看護教育</p> <ul style="list-style-type: none"> 看護職のキャリア発達と看護教育との関連について説明できる 将来、看護職としての自身のキャリア形成について考察することができる <p>【関連するSBO】3、4</p> <p>【事前学修:90分】厚生労働省「新人看護職員研修ガイドライン:改訂版」(2014年)を読み、要点をまとめる</p> <p>【事後学修:60分】自身が参加したいと思う「新人看護職員研修」について考えをまとめる</p>	共通基盤看護学講座 佐藤 奈美枝 教授
6/30 火 4限	<p>【授業内容】未来の看護教育を考える(グループワーク・プレゼンテーション)</p> <ul style="list-style-type: none"> これまでの学習内容を統合し、将来、看護職として学生・新人看護職員・後輩を支援する立場を想定した教育的関わりを考察することができる <p>【関連するSBO】3、4</p> <p>【事前学修:60分】自身が「受けたい看護教育」について考えをまとめる</p> <p>【事後学修:180分】新人看護職員を育成するための教育的関わりについて、自身の考えをまとめる</p>	共通基盤看護学講座 佐藤 奈美枝 教授

・教科書・参考書等

	書籍名	著者名	発行所	発行年
参	学生のための看護教育学	佐々木幾美編著	医歯薬出版	2023
参	看護教育学 看護を学ぶ自分と向き合う 改訂第3版	グレッグ美鈴、池西悦子 編	南江堂	2024

・成績評価方法

【総括的評価】課題レポート①30%、課題レポート②40%、ワーク成果物・発表20%、グループワークの参加姿勢10%の合計100%にて評価する。課題レポートの評価基準については初回授業で提示する。グループワークの参加姿勢について、授業内に評価基準を提示する。

【形成的評価】各回の講義の中で、学生同士で学修した内容を伝え合う時間を設け、学修の成果を確認する。また、アンケートフォーム(Google Forms)を通して、学生の理解度を確認する。

DP	SBO	小テスト	定期試験	課題	GW	実技	その他	合計
1	2			30				30
3	3~4				30			30
4	1			40				40
合計		0	0	70	30	0	0	100

(備考)

・特記事項・その他

【授業における試験やレポート等の課題に対するフィードバック】

- ・提出された課題レポートは、評価後コメントをつけて講義最終日に返却する。
- ・授業に関する質問はアンケートフォーム(Google Forms)を活用し、全体に伝えるべき内容は次回の授業で回答する。

【その他】

- ・能動的学習のためスマートフォン等を用い、双方向性型授業ツールとしてアクティブラーニングツール「Slido」を利用する。

【保健師助産師看護師学校養成所指定規則教育内容】

看護師(別表3): 専門分野 看護の統合と実践

【実務家教員担当授業の有無、実務家教員の実務経験の内容及び授業との関連】

当該科目に関連する実務経験の有無 有

大学病院等における看護師の実務経験を有する教員が、専門領域に関する実践的な教育を、事例を交えて行う。

・授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
講義	ノートPC	2	講義用、カードリーダー用(出席確認)
講義	プロジェクター(EPSON EB-L610WVPL-FWZ60)	1	講義用スライド投影
講義	書画カメラ(ELMO PX-10)	1	講義用資料投影